

戸田市行財政改革大綱（第8次行政改革）の概要

1 行財政改革とは

限りある資源（人・物・お金）を最大限に活用し、効果的かつ効率的に事業を進め、財政の健全化と市民サービスの維持向上を目指す取組です。

2 策定の背景・必要性

本市では、これまで7回にわたり、効果的で効率的な行政運営を目指して改革を進めてきました。将来にわたって安定した行政サービスを提供し続けるためには、人口減少を見据えつつ、限りある資源をさらに効果的に活用するなど、時代に合った行財政改革を続けていく必要があります。

3 期間

令和8年度（2026年度）から令和12年度（2030年度）まで
社会経済環境の変化等により、期間を見直す場合があります。

4 基本方針

次の基本方針に基づき取り組みます。

- (1) 社会経済環境の変化や課題を踏まえ、「重点戦略」と「横断的な姿勢」を設定し、それに基づき、取り組んでいきます。

重点戦略1	重点戦略2	重点戦略3
未来を見据えた持続性の確保	DXの浸透と定着化による行政サービスの向上	多様な主体の活躍による未来共創のまちづくり
横断的な姿勢		
「自分ごと」として、変化を楽しみ主体的に行動できる風土の醸成、環境づくり		

- (2) 戸田市第5次総合振興計画の将来都市像「『このまちで良かった』みんな輝く 未来共創のまち とだ」の実現を支える柱として、限られた資源をより一層効果的かつ効率的に活用していきます。
- (3) 「新しいことを始める一方で、見直すべきことは見直す」という視点での事業の見直し、デジタル化による窓口サービスの更なる利便性向上など、これまで以上に職員一人ひとりが変化を楽しみ、自ら考え、自ら動く姿勢で、時代に合った行財政改革を進めていきます。

5 「重点戦略」・「横断的な姿勢」の具体的な内容

(1) 重点戦略1 未来を見据えた持続性の確保

未来を見据えた「事業の新陳代謝と最適化」「持続可能な財政運営」「公共施設ファシリティマネジメントの推進」を掲げ、限りある資源を必要なものに配分するマインドを徹底し、最適な予算編成と事業実行につなげていきます。

(2) 重点戦略2 DXの浸透と定着化による行政サービスの向上

「DXによる業務の負荷軽減と効率化」と「デジタル化による市民サービスの利便性向上」を掲げます。DXの浸透と定着化により、市役所の「ムリ・ムダ・ムラ」をなくすとともに、行政サービスの利便性向上につなげていきます。

(3) 重点戦略3 多様な主体の活躍による未来共創のまちづくり

「公民連携による多様な事業展開」と「民間活力等の活用」を掲げ、未来共創のまちづくりにつなげていきます。

(4) 横断的な姿勢 「自分ごと」として、変化を楽しみ主体的に行動できる風土の醸成、環境づくり

職員一人ひとりが「自分ごと」として、変化を楽しみ主体的に行動できるよう「行政のプロフェッショナルとしてのスキルセット」と「挑戦する風土改革と職員の意識醸成」を横断的な姿勢として掲げ、行財政改革に取り組んでいきます。